

整理番号 3 1

実施年度	令和6年度（事業期間 令和6年6月～令和7年2月）
事業名	省力化施工機械等を活用した今後の道路除草対策の検討
提案者	笠間市

課題及びねらい

道路除草において近年開発された省力化機械等を用いて実証実験を行い、作業性や効果など道路管理者が求める要求を満たす工法か確認し、年間の除草回数削減、又は作業員の省力化に繋がる有効な手法となり得るか検証する。

期待される効果

- ・遠隔操作により、斜面上作業での作業員の転倒・滑落・刃の跳ね返りなどの事故防止
- ・車両等を用いた除草及び路面清掃により、道路上作業員の配置を削減（不要化）
- ・縁石部において、除草補助工法を用いた除草回数の削減

実施概要

- ・市管理道路を試験フィールドとしてリモコン操作による除草や、除草と土砂撤去の同時施工を試験的に実施し、施工時間・人工・費用、施工後3か月経過観察し効果持続期間を調査しました。

実施
状況



90日後
の状況



検証結果

- ・遠隔操作を用いた試験施工では、既存工法と比較し斜面上の作業は減少したが、電柱などの障害物の周囲においては対応できず従来工法との併用となった。人力作業の減少から事故の危険性も減少した。除草回数の削減効果は見られなかった。
- ・今回、路面清掃車によって集草した雑草に土砂が多く混入していることから、処分方法において課題が確認された。
- ・縁石部における補助工法は検証期間中、防草効果が持続したため有効と考えられるが、高温となった際に劣化などが見られ今後の課題が確認された。